



平成28年
4月号



法人 田原公民館
〒747-1078 奈良市生野町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「幸せの連鎖」

館長 泉森 由貴

暑さ寒さも彼岸まで。今年はそう言い切れない寒の戻りを経験しました。春をイメージする花のひとつであるチューリップは、球根の時期にしっかりと冷却しないと春を感じる事ができず、美しい花を咲かせないと聞きます。春の芽吹きと言いますが、厳しい季節にエネルギーを貯め、一気に溢れ出す生命力を表しているようです。



絵 平古カミ

エネルギーの放出といえは、どろどろの子どもたちは9年間の学校生活を終えて、今年も旅立って行きました。初めての卒業証書を手にして。松本連合会長は「この子は親の宝であると同時に地域の宝です。」とご挨拶されました。生徒が少ない分、地域の目は一人ひとりをしっかり見守っています。人生において決して多く経験する

ことのないセレモニーに同席させてもらえることは光栄なこと。思えば以前、幼稚園の育友会長が園児たちに贈った言葉が心に残っています。「みんなは自分がしてほしいことを相手にしてあげなさい。してほしくないことはやめなさい。」と。一見、稚拙に感じるこの言葉。実は射たものです。このご時勢、世界ではテロが相次ぎ、疑心暗鬼が人の心を蝕んでいます。被害者は憎悪を抱き、悲劇を繰り返します。それはまるでドミノ倒しのような負の連鎖です。それに比べて田原の子どもたちはどうでしょう。入学式では伝統的に9年生が新1年生の手を引いて入場します。不安でいっぱいの子のふるえた手を14歳の大きいくやさしい手が包みます。そのぬくもりに育てられた1年後、巣立っていく手との別れに涙します。そしてやがて9年生になった彼らはまた8つ年下の手を握ります。その時、かつて彼らを導いた手はもう22歳。社会人の一歩を踏み出しているのです。見守られ安心を得た心は、誰かの安心を支える役割になっていきます。これこそ幸せの連鎖だと思つのです。様々な世代が利用する公民館で今年度も色々な出会いを提供いたします。集い、学び、広がる。そんな連鎖作用を作り出せるこの職に誇りを持ち進んでいきたいものです。28年度の田原公民館もどうぞご最良に。

「プチ田舎暮らし・田原白菜作り」
修了生によるグループができました。

奈良市東部5公民館の連携事業、風土と歴史に根ざした食・農・技を体験する「プチ田舎暮らし」のシリーズ。以前からお伝えしていたように、田原では毎年、近隣の畑をお借りして、作物を育てる講座を実施しています。昨年12月に終了した白菜作りの事業は、驚くほどの収穫量を記録し、野菜作りの楽しさと喜びをもたらしてくれました。今回、その修了生の同志が集まり、田原で継続して作物を育てるグループとして新たに発足することになりました。代表の北森さんに思いを伺いました。

田原畑の会

代表 北森 照子さん

昨年、公民館講座として4回にわたり開催された「プチ田舎暮らし・田原白菜作り」を12月に大収穫で終える事が出来ました。その後、もっと色々な野菜や他の作物も作りたいとの思いで誕生したのが今回の自主グループ「田原畑の会」です。

現在13名の会員が集まり



青々と茂る野菜たち

5月から始まる新講座の受講生募集中！

田原ファン倶楽部
開催日：5月～10月(全5回)
5/14. 6/25. 7/30. 9/17. 10/1
時間：午前10時～午後2時
内容：田植え、虫の観察、ます釣り、稲刈り、地元田原との交流体験。
対象：奈良市在住・在学の小学生と保護者40人
費用：1,000円(飲食代)
講師：田原地区の皆さん
※切：4月27日(水)
●天候、生育により開催日変更あり
田原ふる里環境保全向上活動協議会と共催

チャレンジ和太鼓
開催日：5月～10月(全10回)
5/25～10/12(第2第4水曜)
時間：午後6時半～7時半
内容：市内の公民館で唯一田原だけが実施している伝統の和太鼓講座です。初心者歓迎です。さあ始めてみませんか。
対象：小学生以上10人
費用：無料 バチはお貸しします
講師：沖見一成さん
※切：5月17日(火)

ました。野菜作りの共同作業を通して、自然に親しみ収穫の喜びはもちろん作業の苦勞も共有し、会員同士の親睦をはかってくことが目的です。
会員のほとんどは家庭菜園など多少の畑作りの経験もあるのですが、皆この田原の畑で青空のもと作物作りをしたいとの気持ちでいっぱいです。それぞれに作りたい野菜があつて、今後は少しでも多くの作物が取れるよう皆で考えて収穫できたらいいと思つています。又、時には採れた野菜で調理実習もする予定です。
いよいよ田原の自然の中で、昨年と同じ畑をお借りしての畑仕事、野菜作りが始まります。





第8回「田原の春が始まる」

さて4月です！春らしく、テンション高めにスタートしてみました。新学期や、新しい環境になられた方もたくさんいらっしゃると思っています。



肅々と神事は進みます

だんだんと日中も活動しやすくなる季節ですが、3月12日、田原地区おんだ祭りにお邪魔させていただきました。

おんだは漢字で書く「御田」。寺社や皇室が所有する田のことだそうです。御田植祭ともいい、飛鳥坐神社で行われているものが全国的にも有名です。

少し早めに今年の会場である日笠町の今井堂に行くと、すでに会場の設営が行われてい

ました。境内や会所の掃除に、お供え物の確認。行事などに行かせてもらうと、本番のためには皆さんの方が携わって準備をされていることにいつも頭が下がります。開始の時間が近づくとつれて人も増えてきて、いよいよ始まりです。

松葉を稲に見立て、田植えから稲刈りまでを現す神事に続いて、代かきを模して会場内を練り歩く牛。日本人が古来から行ってきた稲作の方法が、このように神事となっていています。この田原が、はるか昔から稲作が行われてきており、地名の表すとおりに米と縁が深かったことを表しているお祭りではないでしょうか。

伝統芸能保存会の皆さんによる伊勢首頭、おかげ踊りの奉納もありました。それにしても、会場の皆さんの笑顔が本当に素敵だったこと！みんな笑顔で過ごせる時間って、いいですね。

帰宅したら、束ねられた松葉がポストに入っていました。このお祭りのことを知らなければ「謎の松葉がポストに入っていた」と誰かに訪ね歩く日々が待っていたことでしょう。いただいた松葉は、玄関に飾らせてもらっています。

いよいよ田原の春が始まります。今年も美味しいお米ができますように。



奉納された松葉を確認されています

東部公民館まつりに

「ご来場ありがとうございました。」

2月28日（日）に月ヶ瀬公民館において「東部公民館まつり」が開催されました。田原を含む東部の5つの公民館が一堂に会し、東部地区にお住まいの方にそれぞれの地域の活動を知っていただき、交流を通じて輪を広げ、今まで以上に輝きを発信できることを目指して、実施いたしました。

今年は早くから梅が開花し、観梅の真っ只中の時期となり、絶好のお天気も手伝って、多くの来場者で賑わいました。田原から参加して下さった、田原伝統芸能保存会の皆さん、スポーツ協会さん。展示に出演、発表に出演して下さった自主グループの皆さん。そしてプチ田舎体験にご指導いただいた藁工房異さん、暮らしの中のクラフト木村さん。ご来賓の連合会長。観覧に来られた田原地区の皆さん。たくさん笑顔のいただきました。本当にありがとうございました。



大ホールでの学習発表の様子



千本つき体験のにぎわい



丁寧にならわを編みます



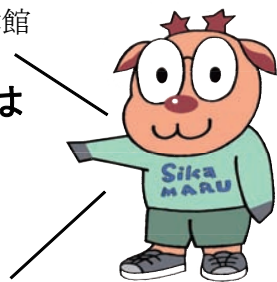
素敵な展示作品の数々

4月の公民館行事とその他のお知らせ

- 8日（金）田原小中学校入学式
- 13日（水）狂犬病予防接種 公民館駐車場（10:30～11:00）
- 29日（金）昭和の日 祝日のため休館

田原地区の世帯数と人口は

世帯数 775世帯
 総人口 1812人
 男性：876人 女性：936人
 （平成28年3月1日現在）
 ●昨年度27年3月1日付けでは世帯数773世帯
 総人口1853人、男性890人・女性963人でした。



都祁保健センターよりお知らせ

食推料理実習

「ふわふわ パンケーキランチ」

日時：平成28年4月27日（水）
 午前9時半から午後1時半頃まで
 場所：都祁保健センター
 持ち物：エプロン、手ふきタオル、三角巾、筆記用具
 参加費：500円（材料費）
 申込み：都祁保健センターにお電話ください。
 締切り：4月19日（火）まで
 電話：0743-82-0341
 主催：奈良市食生活改善推進員 都祁グループ
 ●駐車場：お車は都祁交流センター駐車場をご利用ください。